

平成21年度の主な取組

【研究公開の様子】

今年度は、吾平小学校、上小原小学校、百引小学校の三校が研究公開を開催しました。

研究公開では、市内外から参加した先生が授業に熱い視線を向けていました。



▲百引小学校で研究公開を行っている様子

【英語指導講師の指導の様子】

市では、6人の英語指導講師が市内全ての小学校で、担任の先生と一緒に英語を指導しています。



▲串良小学校での英語指導講師の授業

【各学校の授業の様子】

各小学校では、担任の先生が英語を使いながら、「英語科」の授業を進めています。



▲笠野原小学校での担任教師の授業

英語は「上手に使う」ことよりも、「思い切って使ってみる」ことが大切です。先生も子どもたちと一緒に英語を楽しんでいます。



▲西俣小学校でのALTの授業

また、市には英語を母国語とするALT（外国語指導助手）が6人在籍しており、市内全ての小学校で担任の先生と一緒に英語の授業を行っています。

【英語教育指導法研修会の様子】



▲広島大学磯田貴道准教授による指導

6月には、リナシティかのやで小学校教員を対象に英語教育指導法研修会を開催しました。

研修会では、全小学校から約50人が参加して、熱心に指導法を学びました。

また、6校の推進校が各学校で研究した指導法を紹介し、各学校の教員が参加してワークショップ形式の実技研修を行いました。

「かのや英語大好き事業」 LET'S HAVE FUN SPEAKING ENGLISH!



市では、平成16年度に内閣総理大臣から「構造改革特区制度」の認定を県内で唯一受け、「かのや英語大好き特区事業」に取り組んでいます。この事業は、国が示す教育課程の標準によらない小学校段階における教科「英語科」の研究を行うことにより、英語好きな子どもを育てることを目的としています。

今回は、この「かのや英語大好き事業」の現在の研究推進の状況について、市民の皆さんにご紹介します。

【問い合わせ】 市学校教育課 ☎0994-31-1137

かのや英語大好き事業の概要

小学生から英語に親しむことで、英語好きな子どもを育み、中学校英語教育へ円滑につなげる

取組

研究体制

- 市内全小中学校を6つに分け、英語教育圏を構成し、各1校の推進校を指定
 - ◇鹿屋・鹿屋東英語教育圏（推進校：鹿屋小学校）
 - ◇第一鹿屋・花岡英語教育圏（推進校：西原小学校）
 - ◇大始良・高須英語教育圏（推進校：大始良小学校）
 - ◇百引・市成英語教育圏（推進校：百引小学校）
 - ◇串良・高隈英語教育圏（推進校：上小原小学校）
 - ◇吾平・田崎英語教育圏（推進校：吾平小学校）
- 各英語教育圏に英語指導講師を配置
 - 各推進校に英語指導講師を1人ずつ配置し、英語教育圏内の全ての学校に派遣しています。

活動内容

- 小学校英語科指導法研修会を開催
 - 教師の英語科の指導法、指導技術の向上を図るために研修会を開催しています。
- 各推進校を中心に指導法の研究
 - 小中連携を図り、指導法の研究、教材や教具を開発しています。
- 各英語教育圏で研究授業を行い、その評価を話し合う連絡会を開催
 - 連絡会の中で、指導法の研究、教材や教具を開発しています。
- 中学校までの9年間を見通した年間指導計画の作成

研究の柱
○教育圏内の教育課程・教育方法の確立
○小学校から中学校への円滑な接続の在り方の研究

参考資料

【児童向けアンケート調査結果】

Q1. 英語の授業は楽しいですか？

- 楽しい 96.8%
- 楽しくない 3.1%

Q2. 楽しい活動は何ですか？

- 1位 ゲーム
- 2位 歌
- 3位 ALTとの対話

Q3. 難しいと思うことはなんですか？

- 1位 英語の発音
- 2位 表現を覚えること

【県基礎・基本定着度調査結果（中学1年英語）】

●英語を「聞く力」

県平均 76.7% 市平均 82.7%

かのや英語大好き事業の成果

市では、「かのや英語大好き事業」の成果と課題を把握するために、児童・教師を対象にアンケート調査を実施しました。

左記の参考資料のとおり、市のほとんどの児童が「英語の授業が楽しい」と感じており、教師の英語の授業への不安も少しずつ解消されつつある状況といえます。

また、県が実施した調査の結果では、小学校で英語科を学習した中学校1年生の英語を「聞く力」が県平均を上回っており、これは音声重視したかのや英語大好き事業の成果と考えられます。



今後の取組

市では、可能性を秘めた子どもたちが国際人として広く世界に旅立ち、様々な分野で活躍していけるよう「かのや英語大好き事業」を核として、今後も英語教育のさらなる充実に努めていきます。

かのや英語大好き事業の経緯

かのや英語大好き事業は平成16年に国の認定を受けて、平成17年度からスタートし、現在、5年目を迎えています。

平成17年度の市内小学校英語科教育の研究を先進的に行う研究推進校は1校でしたが、平成19年度には6校となりました。さらに、平成20年度には、市内全小学校で教科「英語科」の授業を行っています。

今後、市では、学校・保護者・地域の声をもとに改善を図りながら、この「かのや英語大好き事業」をさらに推進していきます。

また、この研究成果を市内のみならず、全国に発信していくと、文部科学省や学識経験者らと共同で研究を進めています。



▲上小原小学校の研究公開に訪れた直山木綿子氏（文部科学省教科調査官）